取扱説明書

破つりハンマー
GSH 11E 型

アース不要
の二重絶縁

このたびは、弊社破つりハンマーをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

- ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みになり、正しくお使いください。
- お読みになった後は、この『取扱説明書』を大切に保管してください。わからないことが起きたときは、必ず読み返してください。

BOSCH

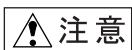
目 次

安全上のご注意

◆火災、感電、けがなど事故を未然に防ぐため、次に述べる『安全上のご注意』を必ず守ってください。
◆ご使用前に、この『安全上のご注意』をすべてよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
◆お読みになった後は、ご使用になる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
◆他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

警告表示の区分

ご使用上の注意事項は ⚠警告 と ⚠注意 に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。

⚠警告 ◆ 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 ◆ 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

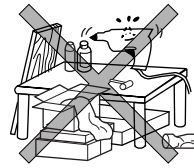
なお、⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

電動工具全般についての注意事項

ここでは、電動工具全般の『安全上のご注意』についてご説明します。今回お買い求めいただいた破つりハンマーには、当てはまらない項目も含まれています。

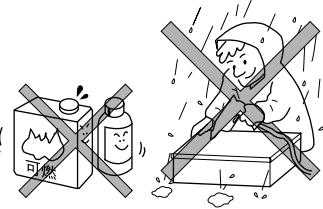
⚠ 警　告

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。

◆ ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。

2. 作業場の周囲状況も考慮してください。

◆ 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、又はぬれた場所で使用しないでください。

◆ 作業場は十分に明るくしてください。

◆ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。

3. 感電に注意してください。

◆ 電動工具を使用中、アースされているものに身体を接触させないようにしてください。
（例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）

4. 子供を近づけないでください。

◆ 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。

◆ 作業者以外、作業場へ近づけないでください。

5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。

◆ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、又は錠のかかる所に保管してください。

6. 無理して使用しないでください。

◆ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。

7. 作業に合った電動工具を使用してください。

◆ 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行う作業には使用しないでください。

◆ 指定された用途以外に使用しないでください。

8. きちんとした服装で作業してください。

◆ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
◆ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
◆ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

9. 保護めがねを使用してください。

◆ 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉塵の多い作業では、防じんマスクを併用してください。

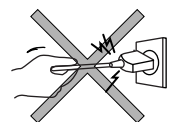
10. 防音保護具を着用してください。

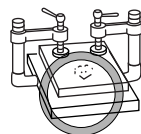
◆ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。

11. 集塵装置が接続できるものは接続して使用してください。

◆ 電動工具に集塵機などが接続できる場合には、これらの装置に確実に接続し、正しく使用してください。

12. コードを乱暴に扱わないでください。

◆ コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
◆ コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。

13. 加工するものをしっかりと固定してください。

◆ 加工するものを固定するために、クランプや万力を使用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。

14. 無理な姿勢で作業をしないでください。

◆ 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

15. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。

◆ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。

◆ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。

◆ コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。

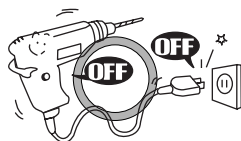
◆ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。

◆ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースなどが付かないようにしてください。

16. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。

◆ 使用しない、又は修理する場合。

◆ 刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。

◆ その他危険が予想される場合。

17. 調節キーやレンチなどは、必ず取外してください。

◆ 電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチ等の工具類が取り外してあることを確認してください。

18. 不意な始動は避けてください。

◆ 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。

◆ プラグを電源コンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

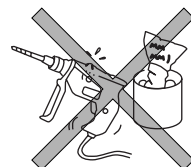
19. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

◆ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、又はキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

20. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

◆ 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
◆ 常識を働かせてください。
◆ 疲れている場合は、使用しないでください。

21. 損傷した部品がないか点検してください。

◆ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか、十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
◆ 可動部分の位置調整及び締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
◆ 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。
スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターへ修理を依頼してください。

◆ スイッチで始動、及び停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。

22. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

◆ この取扱説明書、及びボッシュ電動工具カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

23. 電動工具の修理は、専門店に依頼してください。

◆この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
◆ 修理は、必ずお買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターにお申しつけください。
◆ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

破つりハンマーについての注意事項

電動工具全般の『安全上のご注意』について、前項ではご説明しました。ここでは、破つりハンマーをお使いになるうえで、さらに守っていただきたい注意事項についてご説明します。

⚠ 警　告

1. **必ずアース（接地）してください。（二重絶縁品、低電圧品は除く）**

2. **アース線をガス管に接続しないでください。（二重絶縁品、低電圧品は除く）**

3. **使用電源は必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。**

4. **使用中は本体を確実に保持してください。**

5. **使用中は、工具類や切り屑などに手や顔などを近づけないでください。**

6. **作業中、工具が電線管・水道管やガス管などの埋設物に触れると感電やガス漏れの恐れがあります。作業前に埋設物がないかどうか十分確認してください。**

7. **誤って落としたり、ぶつけたりしたときは、工具類や本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。**
   ◆ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

8. 使用中、機械の調子が悪かったり、異常音がしたりしたときは直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターに点検・修理を依頼してください。

◆ そのまま使用していると、事故の原因になります。

9. つなぎコードは、アース中断線を備えた3芯コードを使用してください。（二重絶縁品、低電圧品は除く）

⚠ 注　意

1. 工具類（ビットなど）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。

2. 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れのある手袋を着用しないでください。

3. 作業時はヘルメット、安全靴を着用してください。

4. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確認してください。また、コードを引っ張られたり、引っかけたりしないようにしてください。

5. 作業直後の工具類や、材料、切り屑などは、非常に熱くなっていますので、触れないでください。

6. 本体を作動させたまま床などに放置しないでください。

リサイクルのために

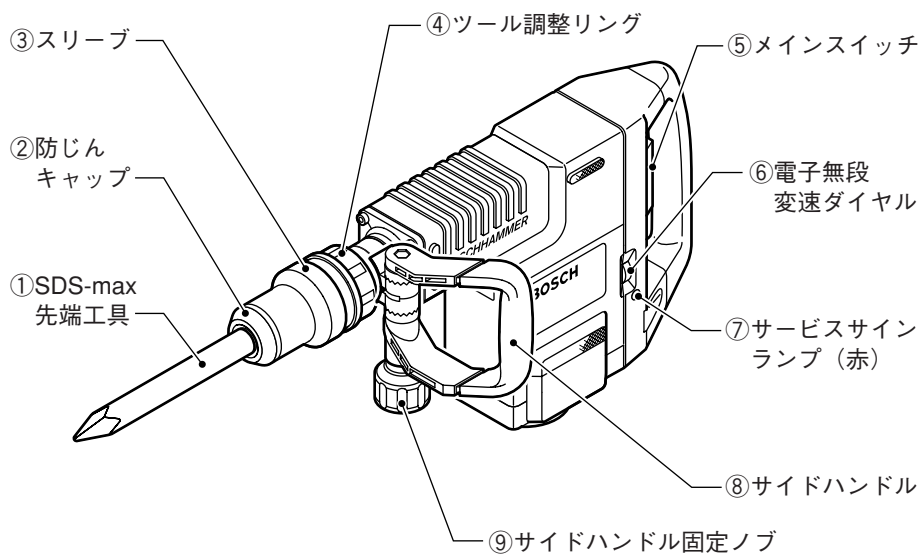
電動工具本体の回収にご協力ください

弊社では、不要になった電動工具本体のリサイクル活動を推進しています。不要になった電動工具本体を処分するときは、お買い求めになった弊社電動工具取扱販売店にご相談ください。
資源保護・環境保護のため、弊社の推進するリサイクル活動にぜひご協力くださいますよう、お願い申しあげます。
電動工具本体の回収・リサイクルは、弊社の製品に限らせていただきます。

本製品について

用　途

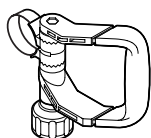
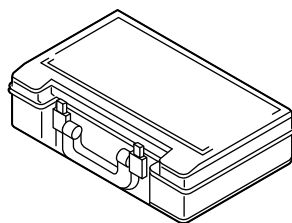
◆ コンクリート、石材への破つり作業

各部の名称

◆このイラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

仕　様

型　番	GSH 11E
電　源	AC100V（50／60 Hz）
消費電力（入力）	1500 W
打撃数（無負荷時）	900～1890min^{-1}（回/分）
打撃力	6～25J
質　量	10.1 kg
ツールホルダー	SDS-max
バリオロック機構の有無*	有

*バリオロック機構とは、先端工具の角度を変更できる機構のことです。

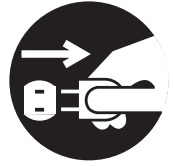
標準付属品

サイドハンドル
品番：2　602　025　076

キャリングケース
品番：2　605　438　297

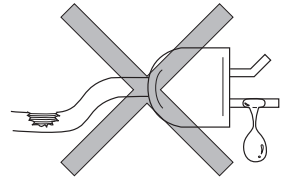
◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

使い方

作業前の準備をする

⚠警告

◆ 作業前の準備をするときは必ず「メインスイッチ⑤」を切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
◆ 電源コードや電源プラグが損傷しているときは、直ちに使用を中止してください。お買い求めの販売店または、ボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。

使用電源を点検する

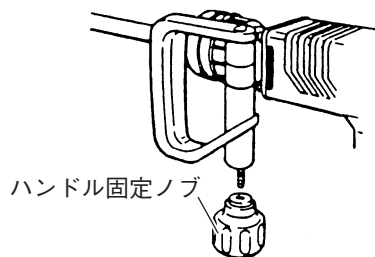
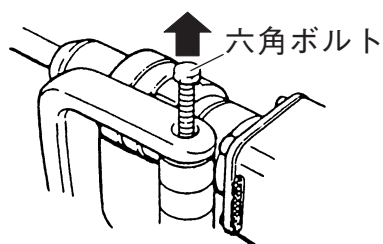
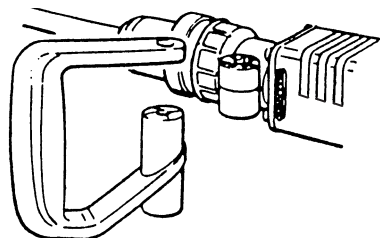
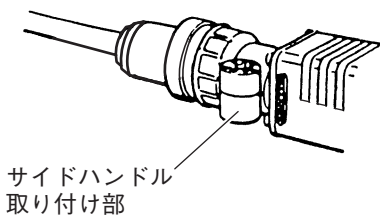
● 単相　AC100 V（50/60 Hz）か？
● 電源コンセント不良（ガタ）のため、電源プラグが簡単に抜けないか？
● 電源コードが断線していたり、電源プラグが破損していないか？

電子タイプ（コンスタント機能）電動工具をご使用時の電源に関するお願い

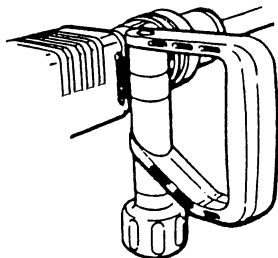
使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
電力供給が不安定な場合には電力が一定に供給できるようにしてください。

● 配電器を使用する場合には昇圧器等の対策をしてください。
● 発電機を電源とする場合にはインバーター式発電機をご使用ください。

電力の供給が一定でないと製品に損傷を与えたり、製品が正常に作動しない場合があります。

サイドハンドルを右側に付け替える

1. ハンドル固定ノブ⑨を緩めます。

2. 六角ボルト（M8×140）を上に引き抜きます。

3. サイドハンドル⑧を横にずらして取り外します。

4. サイドハンドル取り付け部を180度回転させます。

5. サイドハンドル⑧を取り付け、六角ボルトを差し込みます。

6. サイドハンドル固定ノブ⑨をしっかりと締めます。
この際、ガタつきがないことを確認してください。

サイドハンドル⑧を取り外す

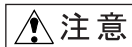
サイドハンドルを取り外す場合は、「サイドハンドルを右側に付け替える」の1〜3項の手順で取り外してください。

先端工具を選ぶ

材料、作業内容に合わせて先端工具を選択してください。

先端工具（または別売アクセサリー）を取り付ける・取り外す

⚠警告

◆ けがの発生を防ぐため、先端工具を取り付けたり取り外したりするときは、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

⚠注意

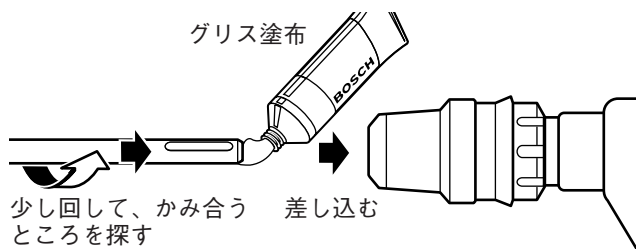
◆ 作業直後の先端工具は高温になります。冷たくなってから、先端工具を取り外してください。
◆ 先端工具は、刃先に触れないように注意して扱ってください。けがの発生を防ぐため、手袋を着用して扱ってください。
◆ 本体の故障を防ぐため、防じんキャップ②に異常がないか確認してください。損傷がある場合は交換が必要です。
（「修理を依頼するときは」を参照してください）

取り付け

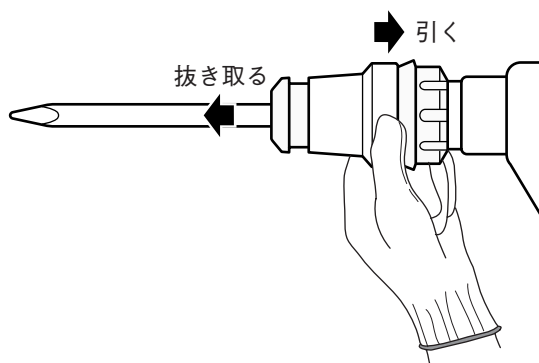
1. 先端工具の挿入部分を清掃し、グリスを塗ります。

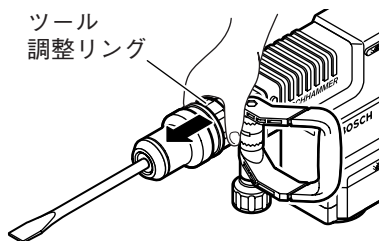
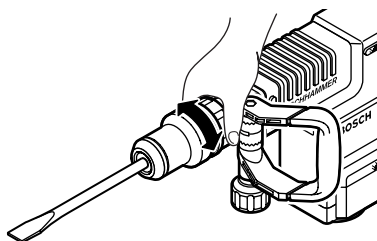
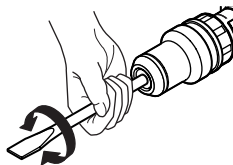
2. 先端工具を取り付け孔に差し込み、少し回してかみ合うところを探します。

3. かみ合ったところで、さらに深くカチッと音がするまで差し込み固定します。

4. 確実に取り付けられたかどうか、先端工具を引いて抜けないことで確認します。

使い方

取り外し

スリーブ②を後方へ引きながら、先端工具を抜き取ります。

1 破つり用先端工具の向きをセットする（バリオロック機構）

1. ツール調整リング④を前（スリーブ側）にスライドさせて、しっかり押さえます。

2. ツール調整リング④を回して、先端工具を任意の向きにセットします。

3. ツール調整リング④を離し、先端工具を回してロックされていることを確認してください。

☞ 先端工具の向きは、30度ずつ12段階にセットすることができます。

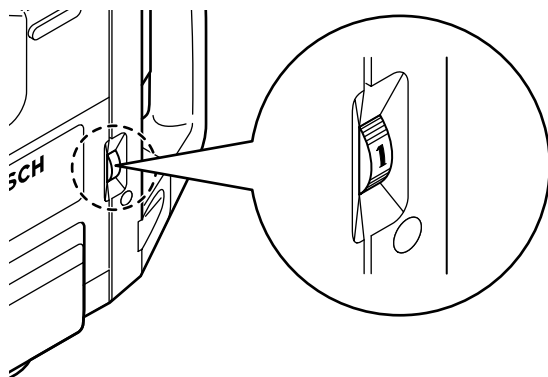
2 電源プラグを電源コンセントに差し込む

⚠警告

◆「メインスイッチ⑤」が“ON”の状態になっていないことを確かめてから、電源プラグを電源コンセントに差し込んでください。

③「電子無段変速ダイヤル⑥」を調整する

「電子無段変速ダイヤル⑥」で、作業内容に合った打撃数に調整してください。

☞「電子無段変速ダイヤル⑥」を“低速側”にして長時間作業することは、避けてください。モーターと連動している冷却ファンの回転数が落ち、冷却効果が下がります。

電子無段変速ダイヤル選択の基準

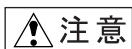
材質・作業	ダイヤル目盛	打撃数（回／分）
軽量モルタル	1−2	950−1,180
タイルはがし	3	1,380
レンガ・ブロック	4	1,520
コンクリート	5−6	1,710−1,890

「メインスイッチ⑤」を操作する

⚠警告

◆ 作業中に振り回されないよう、破つりハンマー本体にサイドハンドル⑧を取り付けてください。両手で本体のグリップとサイドハンドル⑧をしっかり保持し、作業してください。

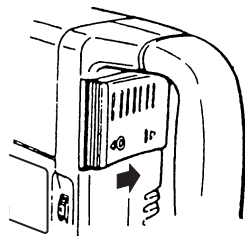
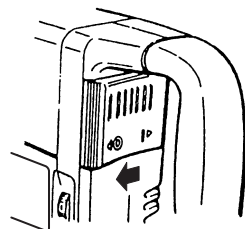
◆ 作業中は常に、破つりハンマー本体より後方に電源コードがくるようにしてください。
電源コードが回転部に巻き込まれると事故の原因になります。

⚠注意

◆ 作業時、破つりハンマー本体は軽く押しつけるだけで破つりできます。必要以上に強く押しつけると、作業効率が低下します。

◆ 作業直後の先端工具は高温になります。やけどを負う恐れがありますので、触れないでください。

◆ 先端工具が材料に引っ掛かったり、斜めに進んだりすると、安全クラッチの働きにより回転が止まります。

スイッチのON/OFF

ON： メインスイッチを ❙ の方向へカチッと音がするまでスライドさせます。

OFF： メインスイッチを ○ の方向へカチッと音がするまでスライドさせます。

困ったときは

故障かな？と思ったら

① 『取扱説明書』を読み直し、使い方に誤りがないか確かめます。
② 次の代表的な症状が当てはまるかどうか確かめます。

症　　状	原　　因	対　　処
「メインスイッチ⑤」を“ON”の位置にスライドさせても動かない	スイッチが故障している	修理を依頼する
破つりに時間がかかる	先端工具が摩耗している 使用電源の電圧が低い	先端工具を研磨または交換する 100Ｖの電源を使う
先端工具が挿入できない	ツールホルダー内に異物がつまっている	修理を依頼する
サービスサインランプ⑦が点灯している	カーボンブラシの交換時期になっている	オーバーホールを依頼する

修理を依頼するときは

◆『故障かな？と思ったら』を読んでもご不明な点があるときは、お買い求めの販売店または弊社コールセンターフリーダイヤルまでお尋ねください。

◆修理を依頼されるときは、お買い求めの販売店にご相談ください。
または、弊社ホームページでご案内しています修理認定工場から最寄りの修理認定工場をお選びいただくか、ボッシュ電動工具サービスセンターにご相談ください。

◆この製品は厳重な品質管理体制の下に製造されています。万一、本取扱説明書に書かれたとおり正しくお使いいただいたにもかかわらず、不具合（消耗部品を除きます）が発生した場合は、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターまでご連絡ください。
弊社で現品を点検・調査のうえ、対処させていただきます。お客様のご使用状況によって、修理費用を申し受ける場合があります。あらかじめご了承ください。

コールセンターフリーダイヤル 0120-345-762

土・日・祝日を除く、午前 9：00〜午後 6：00

＊電話番号が03および04で始まる地域のお客様、および携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161をご利用ください。コールセンターフリーダイヤルのご利用はできませんのでご了承ください。

ボッシュ株式会社ホームページ　http://www.bosch.co.jp

ボッシュ電動工具サービスセンター北海道

〒003-0873 北海道札幌市白石区米里3条2-6-33
TEL 011-875-2388　FAX 011-879-2138

ボッシュ電動工具サービスセンター

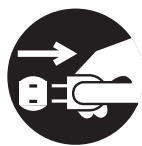
〒360-0107 埼玉県大里郡江南町大字千代字東原39
ゼクセルロジテック内
TEL 048-536-7171　FAX 048-536-7176

ボッシュ電動工具サービスセンター西日本

〒811-0104 福岡県糟屋郡親宮町的野741-1
TEL 092-963-3486　FAX 092-963-3407

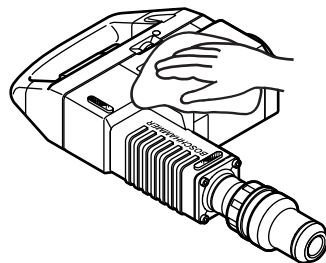
お手入れと保管

⚠警告

◆ お手入れのときは、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

クリーニング

通風口やスリーブなどに付いたゴミ、ホコリを取り除く

乾いた、柔らかい布で本体の汚れをふき取る

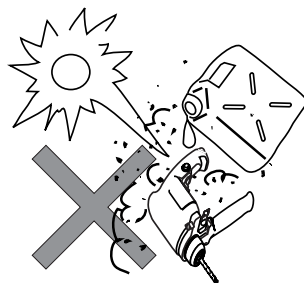
☞ 変色の原因になるベンジンなどの溶剤は使わないでください。

カーボンブラシの交換（サービスサインランプ）

● カーボンブラシ交換時期の約8時間前になるとサービスサインランプ（赤）⑦が点灯します。
サービスサインランプ（赤）⑦が点灯したら、カーボンブラシの交換と同時に、オーバーホールされることをお勧めします。

☞ カーボンブラシの交換作業は、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターに依頼してください。

保　管

破つりハンマーを使った後は、きちんと保管する

● 子供の手が届くところ、または錠が掛からないところに置かない。
● 風雨にさらされたり、湿度の高いところに置かない。
● 直射日光が当たったり、車中など高温になるところに置かない。
● ガソリンなど、引火性が高いものの近くに置かない。

● 本取扱説明書に記載されている、日本仕様の能力・型番などは、外国語の印刷物とは異なる場合があります。
● 本製品は改良のため、予告なく仕様等を変更する場合があります。
● 製品のカタログ請求、その他ご不明な点がありましたら、お買い求めになった販売店または弊社までお問い合わせください。

BOSCH

ボッシュ株式会社　電動工具事業部

ホームページ：http//www.bosch.co.jp

〒150-8360　東京都渋谷区渋谷3-6-7

コールセンター フリーダイヤル

0120-345-762

（土・日・祝日を除く、午前 9：00〜午後 6：00）

＊電話番号が03および04で始まる地域のお客様、および携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161をご利用ください。コールセンターフリーダイヤルのご利用はできませんのでご了承ください。

EMA-GSH11

1 619 929 469 (05.03)

Printed in Germany